

1 年 SS 基幹探究 探究基礎 I 報告

◇期 日:4 月 25 日(木)からの毎週月曜日4限・木曜日6限

◇場 所:図書館・化学実験室・生物実験室・教室

◇参加者:1学年 探究科学科生徒80名

探究科学科 1 年の探究基礎 I では、様々な分野の連続型テキストや非連続型テキストを用いて、「読み解く」力を伸ばす授業を行った。16 名の少人数編成で、国語、地歴、数学、理科、英語の各教科 2 名の先生方によるチーム・ティーチングの授業をそれぞれ連続 3 時間で実施した。

国語では「羅生門」を読解し、原典となった「今昔物語」と読み比べて芥川龍之介の意図をくみ取った。芥川独特の表現から、彼のその時代に対する考え方や主張を考察し、より作品への理解を深めた。数学では n の累乗和の求め方の法則を4人班で話し合い、図形や式の連立などを利用して導き出した。人の数だけ考え方があり、それらを共有することで視野が広がったようにも感じ、とても面白い活動だった。地歴では歴史上の人物を1人選んでその人物の生涯について調査し、4人班で発表した。それぞれがお気に入りの人物や授業で関心をもった人物について追究するなかで、どこを掘り下げて重点的に調べたのかにも大きく違いがみられ興味深かった。英語では、新聞や web 上の英文記事などを短い制限時間内で読み取り、記事全体の内容を捉える練習やスキミングの練習を行った。短い時間の中で記事の内容を捉えるためには、全てを読むのではなく、重要だと思う箇所を取捨選択して読む必要があった。このようなことを意識して英文を読むのは初めての経験であり、なかなか思うようにはいかなかった。これからたくさんの語彙や表現を身に付けなければならないと思った。理科では、物理・化学の科学現象に関する文章を読んで、演示を見て課題に取り組みながら、わかったことや調査したいことをそれぞれまとめた。

探究基礎 I の授業を通して、自分たちだけで思考して答えを出すことの難しさや、夢中になって取り組むことの楽しさを学んだ。これからも初心を忘れず、誠実に探究活動に取り組んでいきたい。

